

中学部



中学部二年 今

- カラカスに来てから…… 約九ヶ月
- 趣味…… ピアノ、絵を描くこと、物語を書くこと、インターネット等
- 学校での印象深い思い出…… 修学旅行、三十周年記念大運動会
- 学校の好きな場所…… 中学生教室。教室から見た景色がきれい。
- 学校へ一言…… 三十年間おつかれさまでした。今後もよろしく。

中学部二年 三

カラカスに来てから 五ヶ月

カラカス日本人学校での一番の思い出 修学旅行（プエルトラクルス）

ベネズエラの好きなところ アピラ山登山

好きな言葉 笑え笑えハッハッハ

学校への言葉 目指せ百周年！！

中学部三年 小

カラカスで暮らした年月

十一年

カラカス一番好きなおとこ

アピラ山とカリブ海

カラカスの一番の思い出

マルガリータへの家族旅行

好きな言葉

幸せが一番

学校への言葉

目指せ三ケタ



十年後のカラカス日本人学校の皆さんへ

中学部二年 今

十年後の皆さん、カラカス日本人学校は無事に創立四十周年を迎えましたか。十年前、私はカラカス日本人学校創立三十周年の時の生徒でした。三十年の歴史を振り返り、改めてカラカス日本人学校の歴史を知り、盛大に三十周年を祝いました。十年後の皆さんに、私が今のカラカス日本人学校について思っていることと、今後の目標と願いを書きたいと思います。

私は、カラカス日本人学校に来てまだ一年もたっていないのですが、もう何年もいるような気がしています。全校生徒が少ないため、皆兄弟のようです。レクリエーションなど全校で遊ぶ機会を総務委員会が中心となってい、友情を深めています。運動会はまだ行っているのでしょうか。私は今年、創立三十周年記念大運動会の赤組応援団長をやりました。特別な年に、全校生徒が一生懸命になって、一致団結し、最後までやりとげることができました。私は感動しました。皆でひとつになれたと、実感できたからです。

私の目標と願いについても書いておきます。私は、将来やってみたい事がいくつかあります。その中の一つに、作家という夢があります。私がもし将来作家になったら、外国生活の思い出を一冊の本にしてみたいと思っています。もちろん、このカラカス日本人学校の思い出も書きたいです。外国でしかできない、特別な体験を、本にして一人でも多くの人に伝えることができたなら素敵だと思っています。

カラカス日本人学校の自慢できるところは、全校生徒一致団結でき、皆が兄弟のように仲が良い学校だということだと思います。私はあと二年で卒業します。私が帰った後にも、転入する生徒がいて、転出する生徒があり、その繰り返しだと思います。そして、すぐに創立四十周年を迎えるときがくると思います。新しい行事ができたり、生徒の数が増えたりと、何か変わっていると思います。でも、今も昔も自慢できる長所がたくさんある学校であってほしいです。そして、それをこれからも大切にしていってくれればうれしいです。

最後に、三十周年記念大運動会のスローガンを、皆さんに知っておいてほしいと思います。そして、記憶のどこかにこの言葉を残しておいてほしいです。

「最高の笑顔をもとめて」

大運動会では、最高の笑顔が見られたと思っています。是非、皆で団結し、皆で最高の笑顔で笑ってください。これからもがんばってください。私もがんばります。

10年後の皆さんへ

中学部二年 三

この手紙は、2005年、カラカス日本人学校三十周年記念のときに書いたものです。この手紙を皆さんが読んでいるころは2015年でしょうか。もしかしたら、僕はすごく有名な人になっているかもしれません。もしかしたら、すでにドラえもんがいるかもしれません。十年先のことは僕にはまったく予想がつきません。

だけど、僕は十年後こうあってほしいと願うことはできます。30周年記念の「アピラ」(CD)に載っているように、僕は当時中学部二年生です。当時は中学部三人、小学部は十六人です。しかも、中学部一年は誰もいません。僕がいる中学部二年は二人だったので、教科書など全部読んだりしなくてよかったです。まだカラカス日本人学校にきてから、六ヶ月しか、たっていない。だけど、僕はこの学校でたくさんの思い出を作りました。毎日たくさん笑いました。毎日がとても楽しかったです。今、皆さんが読んでいるときも、そういう学校であってほしいと思います。たとえ校舎が小さくてなっても、人数が減っても、または人数が増えても、皆さんのカラカス日本人学校がとても楽しい学校であってほしいと思います。カラカス日本人学校がいつも最高の笑顔であふれる、世界一の学校になることを願っています。

十年後の皆様へ

小

僕は、十年後、二十四歳になります。そのとき僕は、なにをしているのだろうか、将来の夢はかなったのだろうか、カラカス日本人学校は、どうなっているのだろうか、ものすごく気になります。しかし、その中で一番気になるのは、カラカス日本人学校は、どうなっているかです。何故かというは、この日本人学校には他校では経験のできないことをいっぱい経験できたからです。

例えば、委員会活動では、僕は委員長を務め、運動会では白組の団長として、学校の中ではいつもリーダーとして活動しました。日本の学校であれば、みんなの前に立つことなく誰かについて行くことになっていたと思います。

また、こういう経験もありました。全日本男子バレーボールチームの来校、音楽家の城之内さんとの出会い、そして、一番経験になった職場体験などもありました。

勉強面では、日本の学校と比べて人数が少ないので発表する機会も多く先生方も親切に指導して下さいます。

それから、学校では小学一年生から中学三年生までみんな同じ校舎の中にいるので一緒に遊んだり話したりできるのでとっても楽しいです。

学校行事は、運動会、宿泊学習、学習発表会、子ども祭り、植林活動などがあります。中学生は、修学旅行もあります。今年の修学旅行では、中学部（五人）と小学部六年生（一人）と三人の先生と一緒にベネズエラの北東にある「プエルト・ラ・クルス」に行きました。MMC（三菱）などを見学させてもらえて思い出に残っています。

このカラカス日本人学校には、こういう楽しい行事があるので僕は大好きです。だから、十年後、二十年後、三十年後、そしてもっともっと未来の後輩達にカラカス日本人学校を大切にしたいと思っています。

目指して欲しい目標は「目指せ三ケタ」、「目指せ世界一明るい学校」です。皆さんこの目標が出来るように頑張ってください。